

心を守る「パーソナルスペース」～ペア活動の改善・向上を目指して～

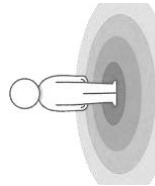
瀧水望花 中村颯汰 西野眞斗 三瀬由菜 山本愛音 脇坂真心愛 指導者 中尾力広

<課題設定の理由>

学校生活の中でのペアワークやグループワークでの距離に違和感を感じたため、パーソナルスペース(図1)に示すように、他人に侵入されると不快に感じる空間)を利用することによってより良い距離で話し合いができてきたから。

<仮説>

- ① 親しくなるほどパーソナルスペースが狭い。
- ② 男女間のパーソナルスペースが最も広い。
- ③ パーソナルスペースによって、人と関わることの距離感をより良いものにしていく。



- ・公衆距離 (360cm以上)
- ・社会距離 (120～360cm)
- ・個人距離 (45～120cm)
- ・密接距離 (45cm以下)

<実験方法>

- ① 対面のみで実験する。(男×男、女×女、男×女、女×女、対象は東校生)
※将来的には、検証をもとに東校生と社会を比較する
- ② 実験開始前に対象者に性別、関係性(他人、知人、友人、親友)を聞く。
- ③ マスクを外した状態で、向かい合い、2m離れてから接近する。(図2)
- ④ お互いのつま先の距離に20cm足した数を結果とする。

<考察>

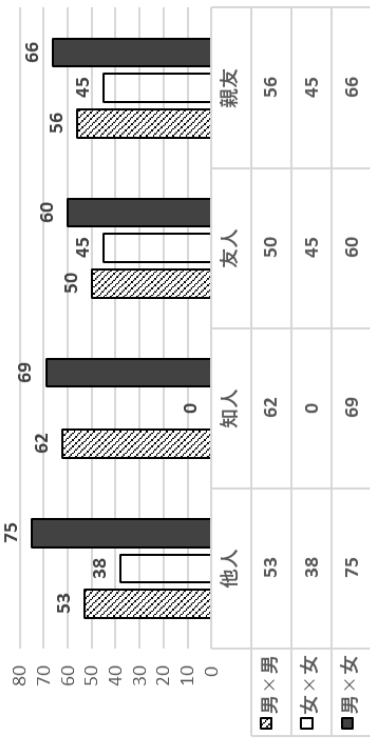
- ① 親密度が高くなるほど距離感が縮まる(図3)。
仮説①は正しい。
- ② 男女間のパーソナルスペースが最も広い(図3)。
仮説②は正しい。
- ③ 友人より親友の方が距離が遠い。親友では、程よい距離感を理解している(図3, 4)。



図2 実験の様子

<結果>

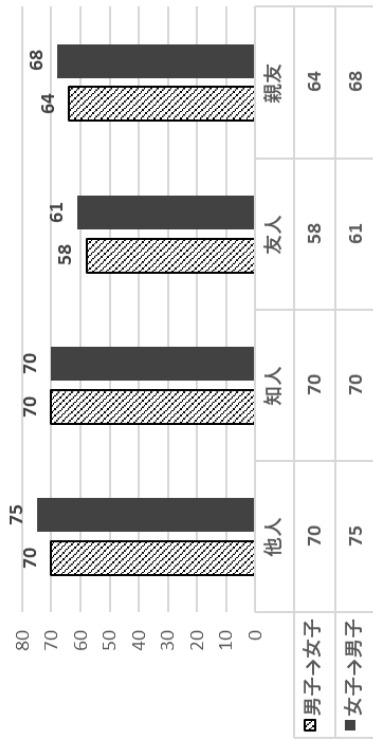
関係性による距離感の違い



□男×男 □女×女 ■男×女 ■女×男

図3 関係性による距離感の違い

男女の距離感の違い



□男子→女子 ■女子→男子

図4 男女の距離感の違い

<参考文献>

明日のチーム <https://www.ashtite-team.com/jinj-online/business/13384>
Izolメディア <https://izol.co.jp/media/business-skill/personal-space/>
いらすとや (フリー素材)

<今後の課題>

- ① 仮説③の検証に向け、どんな行動をとれば縮まる(遠ざかる)のか等の実験を行う。
- ② 友人や親友の定義が曖昧⇒条件をそろえる。
- ③ データ収集を継続し母数を増やす。